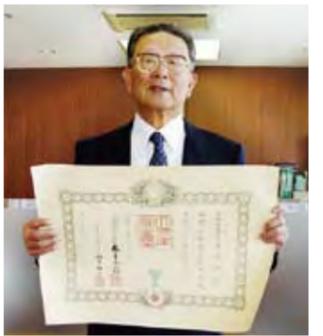


瑞宝小綬章 鳥家勝士さん (南野添)



鳥家さんは、関税を適正に徴収する「税」と、違法な輸出入貨物を取り締まる「関」の両方に計39年間にわたり携わってこられました。その間、色々なことがあり、中でも後輩と張り込んで覚せい剤の密輸入を摘発したことは忘れられない記憶です。「今まで支えてくれた上司や部下、あるいは家族に感謝しています」と、お話しされました。

播磨南中学校がトライやるウィークを実施

6月1日(月)～5日(金)の5日間。中学2年生が、地域に学ぶ体験学習「トライやる・ウィーク」が行われました。当初の予定では、町内2つの中学校が同時開催の予定でしたが、播磨南中学校は急ぎょ延期となったため、6月は播磨南中学校のみの実施となりました。

町内及び近隣の43事業所に出掛けた生徒は146人。飲食店での接客や高齢者や幼児の世話をする体験などを通して、学校では学べない様々な活動に取り組まれました。



▶町広報で農業体験を指導する農家取材中の中学生

新型インフルエンザの感染防止、安全のため 学校・園を休校・園しました

5月17日(日)から22日(金)まで、新型インフルエンザの感染拡大防止と住民の安全のために、町内の学校・園の休校と休園を行いました。5月25日(月)からは、通常通りとなりました。

小学校	8月27日(木) 午前中	28日(金)、31日(日)
中学校	8月26日(水)～28日(金)	午前中

休校となった一週間の補充授業を一部、次の通り実施します。

黄綬褒章 三浦喜太郎さん (古宮)



三浦さんは、鉄道車両塗装工として、1964年から新幹線の塗装を手掛け、初代新幹線0系から新型700系まで、2千両を超える車両の塗装にかかわってこられました。当時の車体は、ステンレスではなく、鉄板を溶接しており、凹凸が多く、樹脂を塗って表面を平面に仕上げる「パテ付け」の作業が重要だったといいます。現在は、培った技術やノウハウを引き継いでもらうべく若手育成に力を注いでおられます。

『国際交流INHARIMA2009』今年も多くの参加者で大盛況



▲大勢の人と楽しくゲーム

毎年恒例の国際交流イベントが5月10日(日)に中央公民館で開催されました。プロジェクト21はりま、NPOまちづくりサポートはりま、播磨町国際交流協会 共催。

今年は近隣在住の中国・韓国・ミャンマー・ベトナム・フィリピン・アメリカ・アイルランド・オーストラリアからの人々と住民の計191人が参加しました。

播磨南高等学校等(部)による「ジューピター」のオープニングで始まり、ボランティアの手料理や播磨南高等学校茶華道部の呈茶のサービス。ステージでは播磨南中学ESS部による英語劇「シンデレラ」、ベトナム人有志の『アオサイ』紹介、日本語教室からは日本人と外国人で『上を向いて歩こう』を熱唱。また、高校生の工夫を凝らしたゲームで楽しい交流の場となりました。

東播磨ふれあいネット(BAN-BANテレビ 11チャンネル) 播磨町・稲美町・加古川市・高砂市の行政広報番組です。

7月の放送予定 (収録場所 加古川市)

前半 7月6日(月)～19日(日)

- 特集 「こんにちは赤ちゃん」地域で子育てを応援します(播磨町)
- ふれあいインフォメーション(各市町からのお知らせ)

後半 7月20日(祝)～8月2日(日)

- 特集 みんなの道路を安全に!(高砂市)
- ゆうゆうライフ(播磨町)
- ふれあいインフォメーション(各市町からのお知らせ)

放送時間(第1・3月曜日の①以外は再放送)30分番組

月・水・金	①午前9時	②午後1時	③午後11時30分
火・木	①午前9時30分	②正午	③午後9時30分
土・日	①午前8時	②午後5時	③午後9時

いいね! はりま

町政レポート No.30



▲ご長寿、お祝い申し上げます

役場のそばの水路に今年もカルガモ親子が現れました。親ガモと12羽の子ガモの愛らしいお散歩風景を楽しみにされている方も多いか。生き物と共存できるまちでありたいですね。

◆今年、風薫るさわやかな季節に「新型インフルエンザ」が日本中を震撼とさせました。町内でも各学校園が休校・休園し、各公共施設においても休館の措置が取られました。楽しみにされていた行事の中止や、この間の保護者のご心労など、町内各方面に大きな影響を及ぼすこととなりましたが、町民の安全と流行の拡大阻止を最優先にということで、県からの要請に基づき、上記の対応をさせていただきました。大きな混乱もなく対処することができたのは、皆様のご理解とご協力によるものと思っています。ありがとうございました。

◆5月15日に、あえの里の「樽井ヨシノ」さんに特別長寿祝い金をお持ちしました。樽井さんは、現在108歳で東播磨地域でも最長老(2人)の一人です。ご家族と一緒に、にっこり笑ってカメラに収まっていただきました。播磨町には100歳以上の方が5人いらっしゃいますが、これからもお元気で長生きしていただきたいと思っています。

6月議会で「中学校給食」の補正予算を上程し、6,200人以上の署名をいただく中、賛成9、反対8で可決されました。これまで多くの議論を重ねてきた「中学校給食」ですが、播磨町の中学生に必要なと判断して決定された教育委員会の方針に沿って、進めていきたいと思っています。愛情弁当、選択制などいろいろなお意見や個々のご事情はありますが、小学校と同様、全員給食で実施させていただきたいと思っています。今、中学生にも必要な「食育」を教育の場において実践できることを期待しています。

播磨町長 清水ひろ子

わんぱくはりまっ子



たけもと あおい 竹元 碧ちゃん(2歳)

宮西

「明るく元気に育ってね！」 お父さん・お母さんより



このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(未就学児) 広報担当まで電話をお願いします。

楽屋裏

表紙の写真は、二子にある田で小学生が田植えの体験をするところ。取材に行ったものです。最近、手植えをする風景は見かけることがなくなり、田植えの様子を伝えるために、しまいこんでいた「早乙女」の衣装を着た人が子どもたちと一緒に田に入りました。やっぱり、最初の一步を踏み込んだときの子どもたちの歓声は期待通り。歩きにくいとか、思ったよりもヌルイとか、深いとか大騒ぎです。

広報が発行されるころには、子どもたちが植えた苗もしっかりと根付いていると思います。これからの成長を楽しみに、私も稲刈りまでこの田に通ってみたいと思います。(宮)